

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 6 年 6 月 27 日

青 森 市 長 殿

提出者

住 所 宮城県仙台市青葉区片平1-2-32

氏 名 株式会社安藤・間東北支店  
執行役員支店長 宮川隆太郎  
（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

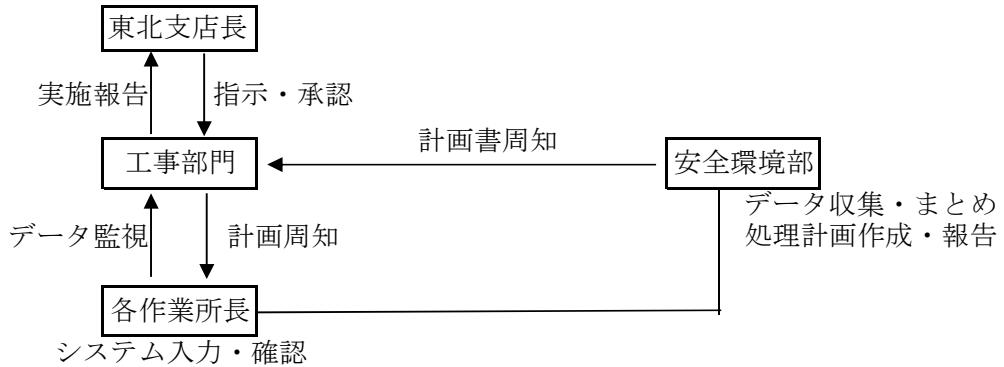
電話番号 022-266-8113

廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社安藤・間東北支店
事業場の所在地	宮城県仙台市青葉区片平1-2-32
計画期間	令和6年4月1日～令和7年3月31日
当該事業場において現に行っている事業に関する事項	
① 事業の種類	総合工事業
② 事業の規模	完成工事高24,526百万
③ 従業員数	285名
④ 産業廃棄物の一連の処理の工程	【委託処理】 <再資源化> 東北支店→各作業所→収集運搬業者→中間処理→再生資源化 <最終処分> 東北支店→各作業所→収集運搬業者→中間処理→最終処分

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項 別紙のとおり

①現状	<b>【前年度実績】</b> 年度) 実績】		
	産業廃棄物の種類_		
	排 出 量_	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	<b>【目標】</b>		
	産業廃棄物の種類_		
	排 出 量_	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の分別に関する事項 別紙のとおり

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組)

## (第3面)

## 自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

## 自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項 別紙のとおり

①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
(これまでに実施した取組)			
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
(今後実施する予定の取組)			

## (第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
産業廃棄物の処理の委託に関する事項		別紙のとおり	
①現状	【前年度（            年度）実績】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t
	(これまでに実施した取組)		

②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類		
	全処理委託量	t	t
	優良認定処理業者への 処理委託量	t	t
	再生利用業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者への 処理委託量	t	t
	認定熱回収業者以外の 熱回収を行う業者への 処理委託量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
※事務処理欄			

(第6面)

備考

- 1 前年度の産業廃棄物の発生量が1,000トン以上の事業場ごとに1枚作成すること。
- 2 当該年度の6月30日までに提出すること。
- 3 「当該事業場において現に行っている事業に関する事項」の欄は、以下に従って記入すること。
  - (1)①欄には、日本標準産業分類の区分を記入すること。
  - (2)②欄には、製造業の場合における製造品出荷額（前年度実績）、建設業の場合における元請完成工事高（前年度実績）、医療機関の場合における病床数（前年度末時点）等の業種に応じ事業規模が分かるような前年度の実績を記入すること。
  - (3)④欄には、当該事業場において生ずる産業廃棄物についての発生から最終処分が終了するまでの一連の処理の工程（当該処理を委託する場合は、委託の内容を含む。）を記入すること。
- 4 「自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、自ら中間処理を行うに際して熱回収を行った場合における熱回収を行った産業廃棄物の量と、自ら中間処理を行うことによって減量した量について、前年度の実績、目標及び取組を記入すること。
- 5 「産業廃棄物の処理の委託に関する事項」の欄には、産業廃棄物の種類ごとに、全処理委託量を記入するほか、その内数として、優良認定処理業者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律施行令第6条の11第2号に該当する者）への処理委託量、処理業者への再生利用委託量、認定熱回収施設設置者（廃棄物の処理及び清掃に関する法律第15条の3の3第1項の認定を受けた者）である処理業者への焼却処理委託量及び認定熱回収施設設置者以外の熱回収を行っている処理業者への焼却処理委託量について、前年度実績、目標及び取組を記入すること。
- 6 それぞれの欄に記入すべき事項の全てを記入することができないときは、当該欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、産業廃棄物の種類が3以上あるときは、前年度実績及び目標の欄に「別紙のとおり」と記入し、当該欄に記入すべき内容を記入した別紙を添付すること。また、それぞれの欄に記入すべき事項がないときは、「一」を記入すること。
- 7 ※欄は記入しないこと。

産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状	産業廃棄物の排出量(前年度実績)	1,352.01	188.70	1.70	2.10	31.14	19.78	26.93	0.00	369.60	2.01	85.49	0.00	0.00	1.05	4.03	0.00	0.00	0.10	2,084.64
	これまでに実施した取組	資材搬入時の梱包の簡略化による廃棄物の排出抑制をしています。																		
②計画	産業廃棄物の排出量(目標)	1,350.00	180.00	1.00	2.00	30.00	15.00	25.00	0.00	350.00	2.00	80.00	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	2,039.00
	今後実施する予定の取組	資材搬入時の梱包の簡略化による廃棄物の排出抑制を実施する予定です。																		

産業廃棄物の分別に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状	分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、建設混合廃棄物に分別し、できるだけ、再資源化に努めてきました。																		
②計画	今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組	今後も、上記のとおり、廃プラスチック類、紙くず、木くず、繊維くず、金属くず、ガラス・陶磁器くず、がれき類、建設混合廃棄物に分別し、できるだけ、再資源化に努めている。今後は、廃プラを再資源化になる品目と埋立処理になる品目に分別するように努めていきます。																		

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量(前年度実績)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組	自ら利用は、実施しておりません。																		
②計画	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組	自ら利用は、実施予定がありません。																		

自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量(前年度実績)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組	自ら熱回収を実施したりや中間処理により減量等は実施していません。																		
②計画	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量(前年度実績)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組	自ら熱回収を実施したり、中間処理により減量等を実施する予定はありません。																		

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量(前年度実績)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組	自ら埋立処分又は海洋投入処分を実施していません。																		
②計画	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量(目標)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う予定はありません。																		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項

産業廃棄物の種類	コンクリートがら	アスファルトがら	がれき類	ガラスくず、コンクリートくず及び陶磁器くず	廃プラスチック類	金属くず	建設混合廃棄物(安定型)	ゴムくず	建設汚泥	紙くず	木くず(木製資材)	木くず(伐木材・除根材)	繊維くず	廃石膏ボード	建設混合廃棄物(管理型)	廃油	水銀使用製品(電池類)	水銀使用製品(蛍光灯等)	合計	
①現状 (前年度実績)	全処理委託量	1,352.01	188.70	1.70	2.10	31.14	19.78	26.93	0.00	369.60	2.01	85.49	0.00	0.00	1.05	4.03	0.00	0.00	0.10	2,084.64
	優良認定処理業者への処理委託量	585.65	5.10	1.70	1.10	3.50	9.04	0.00	0.00	369.60	0.14	2.31	0.00	0.00	1.05	0.00	0.00	0.00	0.10	979.29
	再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	これまでに実施した取組	できるだけ、リサイクル率・減量化率の高い処理業者に委託してきました。																		
①計画 (目標)	全処理委託量	1,350.00	180.00	1.00	2.00	30.00	15.00	25.00	0.00	350.00	2.00	80.00	0.00	0.00	1.00	3.00	0.00	0.00	0.00	2,039.00
	優良認定処理業者への処理委託量	580.00	5.00	1.00	1.00	3.00	9.00	0.00	0.00	350.00	0.00	2.00	0.00	0.00	1.00	0.00	0.00	0.00	0.00	952.00
	再生利用業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	今後実施する予定の取組	上記の業者が、県内になかなかない中で、できるだけ、リサイクル率、減量化率が高く、更に、熱回収を行う処理業者に委託するようにしていきます。																		